

工程管理は正しい標準時間が前提、無い工場は「無管理」 「作業標準/標準時間設定講座」の募集

この講座で習得できることは

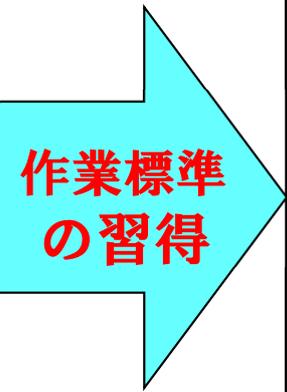
3日間16時間の実習&講義と1年間の大先輩(注)の助言で

生産性を3割向上

させる作業標準/標準時間設定技術です



我見による仕事
低い生産性



動作経済の原則に
よる生産性3割向上



(注) 大先輩SEとは、今回の講師で1年間、ご質問に助言します

講座カリキュラム 日時：2026年 6/2 (火) 6/9 (火) 6/17 (水) 3日間

1 回 目	DX推進のための管理技術及びデジタル技術習得 (工程管理のDX) ※時間：13:00~17:00	①工程管理の目的・課題 ②管理方式とデジタル技術の説明 (作業指導、作業指示 作業標準・標準時間設定の各方式) ③工程管理のDX成功例と業務フローとデジタル技術 (製造計画-作業指図-実績-作業指導とデジタル技術) ※ 受講企業ごとの工程管理のDXの推進と、それを支える管理技術の適応方法を習得する 作業標準/標準時間が無い職場に工程管理は存在しない事の認識が重要！！
2 回 目	業務毎の管理技術 実習1 (模型) (作業標準/標準時間の設定の実習) ※時間：10:00~12:00 13:00~17:00	①IEの基礎知識を学習し「レゴブロック」を組立ることによって、「作業標準」の効果を実感する ②標準時間の設定を学び、ICTによる作業指導を学ぶ ③自社の対象工程を選択し、「熟達者の作業の録画」を学び自社で録画する ※IEの知識が、生産性を20~50%高める事を体感する事、作業標準の設定方法と標準時間の設定を学び、ICTによる作業指導を学習する (作業分析ソフトの利用の仕方を演習する)
3 回 目	業務毎の管理技術 実習2 (自社工程) (作業標準/標準時間の設定の実習) ※時間：10:00~12:00 13:00~17:00	①受講企業毎の「録画された作業手順」を「作業分析ソフト」で動画分析する ②問題点の抽出と改善の演習 ③作業標準/標準時間の設定及び動画マニュアルの作成方法の演習 ※自社の対象工程を教材として、作業標準/標準時間の設定方法を学ぶ

受講対象者 ・ 経営者・役員及び後継者 ・ 実務経験3年以上
受講形態 : ZOOM同時双方向型講座 (定員10名)
受講料 : 200,000円(税別)/人 (申請により受講料の助成がされます。添付P2ご参照)
 中小企業は **受講料の51%の助成金 (実質受講料 108,200円)**
 大企業は **受講料の33%の助成金 (実質受講料 147,600円)**
申込締切日 : 2026年 5月1日 (金曜日) (助成金締切日)



お申込みはこちら

<https://kan-lab.com/contact-hyojun-jyuku>

または、メール「asguide@kan-lab.com」宛に申込可能です

また、FAXでお申込みの場合は、必要事項をご記入の上、「0798-55-8779」へFAX送信ください。
なお、誠に勝手ながら満席になり次第、申込を締め切らせていただきますので、ぜひお早めにお申し込みください。
申込締切日 2026年5月1日(金)

参加ご希望記入欄

貴社名(必須)	ふりがな		
ご住所(必須)			
TEL(必須)		FAX	
部署・役職名			
ご芳名(必須)	ふりがな		
E-Mail(必須)			
部署・役職名			
ご芳名(必須)	ふりがな		
E-Mail(必須)			

【お客様の個人情報の用目的】

お客様がご記入頂きました個人情報は、本セミナー資料・受講票の送付および、弊社セミナーのご案内送付以外に使用いたしません。
また、第三者にこれを開示することはいたしません。

お客様が記載された情報は、(株)管理技術ラボの個人情報保護ポリシー(<http://www.kan-lab.com/policy.html>)に基づき、適切に管理いたします。

同意する

[本講座の特徴] オンライン同時双方向型セミナー

現行の標準時間は
間違った時間です



では、標準時間は
どのように決める
のですか？

受講者の熱意にお応えします！(補講)

- ・希望者への復習の実施 落ちこぼれZERO!
- ・受講者の希望に応じて休日・深夜補講対応します

ライブで質疑！ライブで演習の進捗指導！

- ・講義中に課題の進捗をチェックし、お声を掛けます

聞きのがした講義はいつでも視聴可能

- ・聞きのがした講義は、ホームページから再生可能

「質問シート」は、あなたの一生のメモ

- ・受講者の質問履歴、回答履歴は永久検索
- ・受講後も1年間の質問・助言を受け記録できます

大先輩SEからの助言

- ・今回の講師が1年間、ご質問に助言します
- ・必要に応じてZOOMでの面談も可能です

毎回受講者が抱える課題を解決

- ・受講者が抱える課題を講師に問い掛け、講師は解決BPR事例(700社)から解決策を提示します

参考HP:厚労省助成金「[人材育成支援コース](#)」「[事業展開等リスキリング支援コース](#)」不明点はお気軽にお問い合わせください

- ①「人材育成支援コース」 : 社員の既存業務のスキルアップや社員研修を充実させる為の研修
- ②「事業展開等リスキリング支援コース」 : 新規事業の立ち上げ等の事業転換に伴う人材育成
業務効率化に取り組むデジタルに対応した人材育成

※P1の「実質受講料」は、①項を申請した場合の受講料です。②項の場合は実質受講料が下がります。